



## 住民の生活援助、経済対策について 高齢者の交通手段について

志政会 葉梨 之紀

**問** 今回のコロナウイルス感染症では、多くの人が仕事を失う事態に直面しました。これから中小企業の倒産が増える予想されています。この事態が長引くと、住民の生活など経済的な困窮者が多数発生すると推測されますが、市ではどのように対応するのでしょうか。

**答（市長）**…生活に困った方は「ライフナビ・えびな」に相談してください。相談に応じた方向性を打ち出したいと思っています。緊急小口資金の特例貸付や、住居の家賃が払えない方には住居確保給付金の制度もあります。

**問** 高齢者は70歳を過ぎると歩くのが不自由になり、「買い物や医療機関に行くのも困っている」とたびたびお年寄りから聞きます。運転免許証を返還して、車を手放す人も多くなりました。市ではぬくもり号を運行していますが、その運行回数を増やせないでしょうか。

**答（市長）**…高齢者の移動支援は、利用者のニーズに即した安全運行が必要ですが、買い物支援を大型店やスーパーにお願いし、市がそれを助成する方法もあると思います。そういった部分を踏まえて進化させたいと思っています。

**答（保健福祉部長）**…ぬくもり号、さくら号は65歳以上の市民や障がい者とその介助者を対象に、市内5ルートを1日に3便から4便運行し、昨年度は延べ4万9千人、1日平均では190人の利用がありました。福祉的観点から移動手段の確保は大変重要と思っており、昨年度、まちづくり部と共同で、デマンド型などの取り組みを研究しました。今後はこれらの具体化に向けた研究を進めます。

### その他の質問

・新型コロナウイルス感染症に対する市の方針について



ぬくもり号



## コロナ禍での避難所について

いちごの会 つつ木 みゆき

**問** 9月1日号の広報えびなでもコロナ禍の避難について記載されていましたが、いつ、どこで大規模な災害が起きてもおかしくない状況です。新型コロナウイルス感染症対策に配慮した避難所開設・運営ガイドラインは避難所ごとに作成されているのか伺います。

**答（市長室次長）**…市では、新型コロナウイルス感染症を踏まえた避難所開設・運営ガイドラインを作成し、感染防止対策やゾーニング、また避難者を健康状態に応じて収容するなどの方法を記載しています。災害時に避難所で従事する職員に対しては、ガイドラインの習得を目的に座学研修、図上検討、実地訓練の3段階で教育を実施しました。

**問** 避難所で女性が直面する問題として、性被害、性暴力があります。市では、避難所での女性スタッフは全体の何割ほどいるのか伺います。

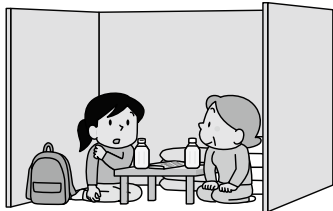
**答（市長室次長）**…避難所生活において、女性の安全安心を守る対策として、女性の視点やニーズ、立場を尊重できるように避難所開設チームの約3分の1が女性です。

**問** 女性の視点は必須だと思えます。防火・防災に関する活動などを行う女性防火推進員を中心に、避難所の運営を行うっていく研修会など体制は取られているのか伺います。

**答（消防本部次長）**…女性防火推進員が中心になり避難所を運営する体制はとられておりませんが、女性が直面する問題は、非常に繊細でデリケートなものであることから年間カリキュラムについて研究していきます。

**問** 車で避難することの有効性について伺います。

**答（市長室次長）**…風水害時における車での避難は、ペットの同行避難の問題や避難所で密を避けるためにも非常に有効であると考えます。



## 今泉小学校増築事業の進捗について

政進会 森下 賢人

**問** 海老名駅周辺のまちづくりの進展に伴い、今泉小学校の学区の人口増加が続くと見込まれるため、同校を増築する設計が進められています。この増築は、今後耐用年数を迎える市内各校の将来モデルとなり得るものだと考えますが、増築される校舎の概要について伺います。

**答（教育部長）**…普通教室と特別教室合わせて18教室、支援級5教室などを配置して、重量鉄骨造4階建て、延べ床面積約2800平方メートルの規模で計画しています。

**問** 重量鉄骨造を採用した理由を伺います。

**答（教育部長）**…柱や壁をできるだけ取り除き、今までの校舎にはない、自由性の高い活用が可能なオープンスペースを創出するためです。鉄筋コンクリート造に比べ建設コストの低減が図られ、工期の短縮というメリットもあります。

**問** 市の義務教育の将来を見据えたとき、この今泉小学校の校舎に対する教育長の思いを聞かせてください。

**答（教育部長）**…各階の中心に3教室分より大きなスペースがあり、2階以上ではこのスペースを囲む6教室の壁を取り外すことが可能です。多様な学習活動や、学年全体が真ん中のスペースに集まって活動もできるなど、創造的に学習できる教育環境の場として、これからの本市の学校のスタイルになるようなものにと考えています。そして避難所としてもさまざまな使い方ができ、さらに、昼は子どもたち、夜は大人と、多くの人たちが学ぶ場として集え、さまざまな使い方ができるようにしたいと考えています。

### その他の質問

・障害者雇用促進法について

・物流施設の進出に伴う課題について

・新型コロナウイルス感染症の救急搬送状況と対策について